

近森病院 看護部

看護部長 森本志保

看護人員

2025 年 4 月、新卒看護師 35 名、既卒看護師 4 名を迎え、看護師 509 名、准看護師 17 名、看護補助者 144 名でスタートした。さらに、2 月にはインドネシアから特定技能生 4 名、7 月には 9 名を看護補助者として受け入れた。

2025 年度の看護師離職率は 11.4%（前年度比－2.9%）であり、目標である 10.0% 以下は達成できなかった。新人看護師の離職率は 17.1%（前年度比＋3.2%）と増加しており、新人看護師が職場に適応できず退職するケースが課題となっている。離職理由としては、他施設への関心による転職、看護師としての適性への不安、健康上の理由が挙げられた。昨年度よりメンターシップ制度を導入し、新人看護師への支援体制の強化を図っている。

近森病院看護部理念

「思いやりの心で、考える看護・自律した看護・つなぐ看護を実践する。」

※思いやりの心とは、相手の立場に立って考え行動し、一人ひとりを大切に思うことである。

近森病院看護部基本方針

1. 健康の回復と急性期看護

患者・家族が最良の健康状態に到達できるよう、急性期看護を実践する。

2. 人間としての尊厳と人権の尊重

患者一人ひとりの尊厳を守り、大切にする看護を提供する。

3. チーム医療と地域連携

住み慣れた地域でその人らしい生活が継続できるよう、チーム医療と地域連携を推進する。

4. 看護者の豊かな人間性と自己研鑽

豊かな人間性と高度な実践能力を備えた専門職を目指し、自己研鑽に努める。

2025 年度の取り組みと成果

1. 看護部目標

「看護の力をひとつに、最善のケアをしよう！」 ～患者に思いをよせる～

急性期病院の役割を果たすため、退院支援や地域連携を強化し、患者の生活を支える体制づくりに取り組んだ。ACP、身体拘束最小化、RRT、医療安全、感染管理などの推進により看護の質向上を図るとともに、DX を推進し働きやすい職場環境の整備を進めた。

2. 主な取り組みと成果

(1)急性期機能の維持・強化

①適切な病床管理

入院患者数 1000 人/月、平均在院日数 11 日以内、病床稼働率 90%以上を目標に取り組んだ。しかし、1 月～12 月の平均病床稼働率は 84.4%、平均在院日数は 11.18 日であり、入院患者数 1000 人/月の達成は 12 月のみであった。お断り件数は年間平均 105 件であり、看護師不足により 4 月に HCU を 20 床から 16 床へ縮小したことが、救急受け入れや収益に影響した。

今後は病床稼働率の向上と在院日数短縮に向け、病院間連携の強化が課題である。

②地域連携の推進

9 月より GE コマンドセンターの運用を開始した。

Patient Acceptance、Discharge Tasks、Patient Manager の各機能については活用状況にばらつきがあり、今後はデータの可視化と効果検証を行いながら活用促進を図る必要がある。

(2)看護の質向上

①ACP の推進

ACP 推進委員会を設置し、院内指針の整備、ポスター掲示、リーフレット配布、研修実施を行った。研修参加者は以下の通りである。

- ・現場で行う ACP:45 名
- ・準備がない時から始める ACP:81 名
- ・急性期循環器領域の ACP:67 名

今後は院内でのさらなる周知と情報共有を進め、地域連携へとつなげていく必要がある。

②身体拘束最小化の推進

倫理的視点に基づき指針・同意書等を整備し、4 月より運用を開始した。身体拘束率は 10～11%で推移している。今後はデータ分析と記録の標準化が課題である。

③RRT の活動強化

RRT 要請件数は 2024 年 419 件から 2025 年 726 件へ増加した。早期介入体制が定着し、院内心停止件数は減少傾向にある。今後も急変予防と予後改善が期待される。

(3)働きやすい職場づくり

①看護師確保

就職セミナー、インターンシップ、学校訪問等を強化し、2026 年度は新卒 54 名を確保した。潜

在看護師への研修からも採用につながった。

②定着への支援

勤続表彰、多様な勤務形態の導入、育児支援などを実施した。有給取得日数は平均 9.2 日、残業時間は平均 4.18 時間であった。救命病棟の負担軽減が今後の課題である。

③環境整備・DX 推進

仮眠室整備、スマートフォン試験運用、AI・RPA 導入検討などを進めた。

(4)キャリア支援と人材育成

キャリアデザインシートを活用した面談により、自律的なキャリア形成を支援した。

①教育研修(修了)

- ・クリティカル認定看護師研修 1 名
- ・特定行為看護師研修 5 名
- ・日本運動器看護学会認定看護師研修 1 名
- ・専任教員研修 2 名
- ・実習指導者講習会 5 名
- ・経営プログラム研修 1 名
- ・がん看護院内認定看護師研修 5 名

②資格取得

- ・認定看護管理者 3 名
- ・心不全療養指導士 3 名
- ・自己血輸血看護師 2 名
- ・医療リンパドレナージセラピスト 1 名

③看護管理者の育成

- ・認定看護管理者研修セカンドレベル研修修了 7 名
- ・新任師長・主任研修 師長 1 名 主任 2 名
- ・その他、看護師長、主任への目標管理支援、管理の事例検討会の開催

現在、専門看護師 10 名、認定看護師 15 名、特定行為看護師 27 名となった。また、認定看護管理者は合計 7 名となり、看護管理体制の強化につながっている。

総括

2025 年度は、急性期機能の維持と看護の質向上に向けた取り組みを継続し、ACP の推進、身体拘束最小化、RRT の体制強化などにおいて一定の成果を得ることができた。また、DX の導入や働きやすい職場環境の整備、人材育成の推進により、看護の質と組織力の向上に寄与した。

一方で、看護師不足による病床運用への影響や、目標とする病床稼働率の未達成、新人看護

師の離職率の上昇など、組織運営上の課題もある。特に新人看護師の定着については、教育体制や職場適応支援のさらなる充実が求められる。

今後は、メンターシップの強化や教育支援体制の見直しを進めるとともに、GE コマンドセンターの活用によるデータに基づいた病床管理と業務改善を推進する。また、地域連携のさらなる強化により、急性期病院としての役割を果たしながら、患者の生活を支える看護の実践につなげていく。引き続き、「思いやりの心」を基盤に、看護の専門性と組織力を高め、質の高い看護の提供と持続可能な看護体制の構築を目指していく。

2025 年看護部教育委員会活動

近森病院 シニア看護師長 西本清香

教育体制の取り組み

教育委員会では、年間を通して新人看護職員研修、急変予測、退院支援、実地指導者研修などを実施した。また、近森会グループ教育委員会と連携し、倫理的視点の強化を目的とした倫理研修を開催した。

さらに、専門領域におけるスキルアップを目的に、専門看護師・認定看護師によるがん看護、高齢者・認知症看護の専門領域研修を実施した。看護職員の学習ニーズに対応するため、次年度は新たに心不全看護に関する研修を導入する予定である。加えて、介護福祉士主任を中心に、看護補助者研修および特定技能生に対する教育支援を実施した。

1. クリニカルラダー研修・ラダー認定

2025 年度のラダー認定者は、レベルⅠ31 名、レベルⅡ63 名、レベルⅢ12 名、レベルⅣ6 名、レベルⅤ2 名であった。

S-QUE クリニカルラダーの受講率は、2024 年度 27%と低値であったが、委員会による働きかけにより 2025 年度は 64%まで向上した。

今後もラダー認定に向けた支援を継続するとともに、e ラーニングを活用し、主体的に学習できる環境整備を推進していく。

2. 新人看護師研修

採血、筋肉注射、点滴静脈注射などの基本技術に加え、BLS、急変時対応、倫理、看護過程などの研修を実施した。新人看護師の職場適応状況を踏まえ、研修内容や回数を調整しながら運営した。2 月には振り返りの会を開催し、卒業校の教員も参加のもと、1 年間の成長を共有する機会となった。次年度も継続して実施する予定である。

また、7 月より人事部による面談を開始し、新人看護師へのフォロー体制を強化した。一方で、新人看護師の離職率は 17%と増加しており、次年度は職場定着チームと連携し、定着支援の強化を図る。

3. 看護部教育委員会の取り組み

① 3～4 年目看護師支援(急変に気づく)

急変に至る危険な兆候について、事例を通して学ぶ研修を実施した。3 回連続で参加した看護師は 24 名であり、満足度の高い研修であった。次年度は、講義部分を e ラーニング化し、演習・実践を中心とした研修へと発展させる予定である。

② 中堅看護師支援(退院支援)

退院支援を推進できるリーダー育成を目的に研修を実施し、3 回連続参加者は 16 名であった。今後は地域連携室や訪問看護ステーションでの実践体験を取り入れ、実践力向上につながる内容へと充実させていく。

③ 実地指導者研修

3 回連続参加者は 13 名であり、補習も実施した。
次年度は近森会グループ全体での統一的な実地指導者研修を展開する予定である。

④ 2～3 年目看護師支援

2 年目看護師を対象に技術チェックリストを活用し、到達度の確認と成長支援を行った。また、メッセージカードを通して承認と動機付けを行った。一部に技術未到達者が見られたため、3 年目まで継続した支援を行う。

4. 近森会グループ研修

近森会グループ教育担当者と連携し、以下の研修を実施した。

① 倫理研修

看護職の倫理綱領を基盤とした講義および事例検討を実施した。関心が高く、多くの参加者による活発なグループディスカッションが行われた。

② 3 年目看護師交流会

3 年目看護職員の支援を目的に交流会を開催し、10 名が参加した。少人数ながら、同期との交流を深める有意義な機会となった。

③ レポート記載トレーニング研修

師長を含むスタッフ 11 名が参加し、記述力向上に向けた研修を実施した。

④ 管理職研修

「人生 100 年時代の学び直しについて」をテーマに研修を実施し、グループ内 49 名、グループ外 12 名が参加した。

○2025 年度近森病院看護部 教育委員会 研修実績

内容	日程	参加数
実地指導者研修	5 月 15 日	14 名
	6 月 19 日	17 名
	11 月 6 日	12 名
	2 月 5 日	14 名
退院支援	11 月 25 日	20 名
	12 月 18 日	19 名
	1 月 15 日	16 名
急変前の対応	8 月 21 日	39 名
	9 月 18 日	27 名
	10 月 16 日	29 名
看護補助者研修	6 月 18 日	42 名
	8 月 21 日	49 名
	10 月 15 日	47 名
	12 月 17 日	47 名
特定技能生研修 3 期生 入職時研修	7 月 1 日 7 月 7 日 7 月 8 日 7 月 9 日 8 月 27 日	9 名
特定技能生研修 1・2 期生研修	8 月 13 日 8 月 20 日 (同じ内容)	8 名
特定技能生研修 BLS 研修	1 月 22 日	19 名
特定技能生研修 2 期生 異動時研修	2 月 16 日 2 月 17 日	3 名
中途採用者研修	7 月～3 月	23 名
看護実践型リスキリング研修	2 月 2 日 2 月 3 日	1 名

○2025 年度近森病院看護部 教育委員会 新人看護師研修実績

内容	日程	参加数
看護部紹介・看護協会・看護連盟・近森グループ教育・電子カルテ・感染・医療安全・看護必要度・WLB	4 月 3 日～4 月 8 日	35 名
点滴静脈注射・採血・筋注・皮下注	4 月 4 日・4 月 7 日	35 名
フィジカルアセスメント	4 月 10 日	35 名
トランスファー、おむつ管理	4 月 17 日	35 名
点滴管理(テルモ)	4 月 24 日	35 名
多重課題・マィムマネジメント・リーダーシップ	5 月 2 日	35 名
BLS	5 月 15 日	33 名
看護倫理・社会人基礎力	6 月 5 日	35 名
検査・薬剤・医療ガス・褥瘡	6 月 19 日	35 名
リフレッシュ研修	7 月 3 日	35 名
急変時対応	7 月 19 日	35 名
ケースレポート、文献検索、看護過程	10 月 2 日	35 名
医療安全・薬剤・化学療法	12 月 4 日	34 名
振り返りの会	2 月 19 日・	31 名

2025 年 看護部実績（ 出張 学会発表 執筆 等 ）

〇学会発表			
演題名	発表者	学会名	開催
	共同研究者		
呼ばれるRapid Response Systemを構築するにはー起動件数増加を達成した当院の取り組みー	〇池澤友朗、斎坂美賀子、山中京子、三木俊史、細田勇人	第52回日本集中治療医学会学術集会	2025.3.14～3.16.福岡
どんな人工呼吸器withdrawシステムが理想？ー事例から考える現状と課題ー	〇斎坂美賀子、池澤友朗、細田勇人、山中京子	第52回日本集中治療医学会学術集会	2025.3.14～3.16.福岡
ICUラウンドにおける看護師の役割	〇岡可桜子、池澤友朗、斎坂美賀子、山中京子、細田勇人	第52回日本集中治療医学会学術集会	2025.3.14～3.16.福岡
若年家族の意思決定に難渋した症例	〇藤井涼子、池澤友朗、飯谷麗奈、斎坂美賀子、山中京子、細田勇人	第52回日本集中治療医学会学術集会	2025.3.14～3.16.福岡
カテーテル治療後の血液透析現状報告 ～2023年01月～12月報告～	〇宇田えりな、浜岡美穂、久武なぎさ、川田愛弓、西村剛	第51回高知県透析研究会	2025.02.23.高知
心不全療養指導士セッション 『超高齢化の高知県でその人らしい暮らしを支える地域連携と療養支援』	〇久家由美	第89回 日本循環器学会 学術集会	2025.3.28～3.30.横浜
がん治療関連心臓障害患者に対する心臓リハビリが有効であった症例	〇久家由美 細田勇人 松田英之 中岡洋子 關秀一 川井和哉	第126回 日本循環器学会中国四国合同地方会	2025.6.29.高松
生活習慣や患者の価値観に沿った個別的な療養支援により再入院を予防できた症例	〇井上有紗 久家由美 細田勇人 松田英之 中岡洋子 關秀一 川井和哉	第126回 日本循環器学会中国四国合同地方会	2025.6.29.高松
統合失調症を併発したがん患者の意思決定支援	〇島田いづみ	第30回日本緩和医療学会学術集会	2025.7.4～5
Destination therapyを受ける患者に対し意思決定支援に難渋した1例	〇土居紀美、飯谷麗奈、池澤友朗、斎坂美賀子	第21回クリティカルケア看護学会学術集会	2025.7.5～7.6.東京
終末期にある小児の家族に対しブラマリーナーシングを用いて関係性を構築した1例	〇飯谷麗奈、池澤友朗、土居紀美	第21回クリティカルケア看護学会学術集会	2025.7.5～7.6.東京
Rapid Response Teamと脳卒中チームの協働ー院内発症脳梗塞に1秒でも早く介入するためにー	〇山達亮平	第9回日本集中治療医学会中国・四国支部学術集会	2025.7.19.徳島
活動2年で起動件数を増加したA病院Rapid Response Systemの現状と課題	〇池澤友朗	第9回日本集中治療医学会中国・四国支部学術集会	2025.7.19.徳島
ICUラウンドにおける看護師の役割	〇岡可桜子	第9回日本集中治療医学会中国・四国支部学術集会	2025.7.19.徳島
自己管理に自信がなかった心不全患者の再入院を予防した一例	〇竹内愛理、久家由美	第31回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	2025.7.19.徳島
自己管理に自信がなかった心不全患者の再入院を予防した1例	〇竹内愛理、久家由美 森本和加、黒川夢彦、竹下昌宏、川井和哉	第31回 日本心臓リハビリテーション学会 学術集会	2025.7.19～7.20.名古屋
救命救急医療の基幹病院における乳がん診療の立ち上げ	〇藤原キミ、柳川信子、杉本健樹	第33回日本乳癌学会学術総会	2025.07.10～12.東京
IE 高齢者ケアの看護管理について一緒に考えましょう！	〇岡本充子、桑田美代子、内部孝子	第29回日本看護管理学会学術集会	2025.8.22 北海道
中小規模病院が地域医療を支えることができるのか ～回復期から地域包括期へ変わる今、高知県のA病院の現状をみる～	青藤尚子	第29回 日本看護管理学会学術集会	2025.8.22～8.23.札幌
新規システム導入に影響される業務改善のプロセス	〇吉永富美（示説）	第29回日本看護管理学会	2025.8.22～8.23.北海道
シンポジウム 暮らしの中の小さな願いを叶えることから始まるACP 小さな願いをつなぐケアー看護現場から始まるACPー	岡本充子	第29回日本看護管理学会学術集会	2025.8.23 北海道
血液培養汚染サーベイランス報告 ～汚染率低減に向けた取り組み～	〇近森幹子、前野多希、小倉夢、有光純子、亀谷佐和、森本穂、前田秀博、石田正之	日本医療マネジメント学会高知県支部学術集会	2025.8.24.高知
メディカルプログラムセッション(看護師セッション) 「当院のここがよい自慢話と悩みの種～虚血疾患を中心に～」	〇坂本明美	第31回日本心血管インターベーション治療学会(CVIT)中四国地方会	2025.9.6.岡山
アントラサイクリン系抗がん薬治療で心不全となった患者に対する心不全療養支援の1例	〇和田尚世、久家由美	第22回 日本循環器看護学会 学術集会	2025.9.14～15.仙台
社会的プレイルの状態である高齢心不全患者への療養支援に関する報告	〇井上有紗、久家由美	第22回 日本循環器看護学会 学術集会	2025.9.14～15.仙台
アントラサイクリン系抗がん薬治療で心不全となった患者に対する心不全療養支援の一例	〇和田尚世・久家由美	第22回日本循環器看護学会学術集会	2025.9.14～9.15.宮城
乳がん周術期化学療法における頭皮冷却装置使用効果の検討	〇藤原キミ、塚本綾、田井由紀、正瑞美香、柳川信子、杉本健樹	第22回日本乳癌学会中国四国地方会	2025.09.26～27.徳島
クリニカルパスフォローアップ研修の実施と課題	〇櫻尾真衣、尾崎美穂、濱口富代、吉原悠衣	第25回日本クリニカルバス学会学術集会	2025.10.17～18.富山県
精神科単科の病院と連携して血糖コントロールを行なった一例	〇伊与田美香、浅羽 宏一、中山 修一	日本糖尿病学会第63回総会	2025.10.31.愛媛
全盲で独居患者に腹膜透析(APD)導入し成功した1例	〇下元小百合、浜岡美穂、川田愛弓、西村剛	第31回日本腹膜透析医学会学術集会	2025.11.22～11.23.東京
Rapid Response Teamの人材育成のための症例検討会実施について	〇池澤友朗	第27回日本救急看護学会学術集会	2025.11.7～11/8 北海道
第6のフィジカルアセスメントとしてのエコーの活用 ～ワイヤレスエコーで変わる排便アセスメント～	〇島田いづみ	第10回認定看護師・専門看護師の看護実践発表会	2025.12.13.高知
「ACP実践の現場から 急性期病院でのCN・CNSの取り組み」	〇山本詩帆、岡本充子、島田いづみ	高知医療センター 認定看護師・専門看護師実践発表会	2025.12.13.高知
多職種で行う循環器集中治療における看護師の役割	〇中野巴奈、池澤友朗、山中京子、細田勇人、川井和哉	第127回日本循環器学会四国地方会	2025.12/6.徳島
当院の緩和ケア外来および緩和ケアチームの活動報告	〇島田いづみ	第7回近森グループ学術集会	2026.2.21.高知
心カテ中に気管挿管した症例	〇近森秀生	倉敷ライブデモンstrーションコース2026 メディカルスタッフシンポジウム	2026.2.21.岡山

O講演・外部講師			
内容	講師	主催	開催 (記載例:2025.11.19.高知)
退院支援ナース養成研修	山本詩帆	徳島県看護協会	2025.2.20～21 / 8.28～29.徳島
県政出前講座「人生会議」	山本詩帆	高知県	2025.2.28.高知
JNTEC	池澤友朗	日本救急看護学会	2025.3.22-23.兵庫
看護管理 看護サービスマネジメントの実際	岡本充子	長野県看護大学	2025.4.9 WEB
慢性成人看護(糖尿病)	伊与田 美香	近森看護学校	2025.4.24.高知
令和7年度看護管理者教育課程セカンドレベル 組織管理論Ⅲ 組織の改革・組織の意思決定	岡本充子	高知県看護協会	2025.5.30 高知
近森病院附属看護学校 老年看護援助論Ⅱ(15コマ)	明神拓也	近森病院附属看護学校	2025.6～2026.1.高知
在宅療養を支える看護Ⅰ	山本詩帆	龍馬看護ふくし専門学校	2025.6.4 / 6.24.高知
高知県立大学家族看護実習講師	島田いつみ	高知県立大学	2025.6.25.高知
高知県立大学大学院APNセミナー講師	島田いつみ	高知県立大学大学院	2025.7.7.高知
2025年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル講師	工藤淑恵	高知県看護協会	2025.7.17 高知
「頭皮冷却法ってなに」四国内施設の活動報告	藤原キミ	四国がんセンター がんサバイバーシップ 支援委員会	2025.07.19.愛媛
成人看護援助論	川田 愛弓	近森病院附属看護学校 2年生	2025.06.24、07/01、07/08
施設-在宅を支援する看護師育成研修	山本詩帆	高知県看護協会	2025.7.18 / 7.25.高知
オンデマンド配信「退院支援の仕組み作り」	山本詩帆	メディカル情報サービス 熊本本社	2025.7.18収録 12.13～27配信
新人看護職員 研修責任者・教育担当者研修	西本 清香	富山県看護協会	2025. 7. 27～7.28.富山
第28回 循環器ヨサコイMeeting	久家由美	近森病院	2025.7.28 高知
グッドプラクティスから臨床倫理をとらえ直す ー看護管理者、そして実践家の視点からー	岡本充子	木村財団	2025.8.29 WEB
腎不全療養介入～保存期から導入について	西村 剛	扶桑薬品工業株式会社 社内研修会	2025.9.3.高知
幡多地区支部多職種事例検討会でのミニ講義:病棟・外来の継続看護 の推進	山本詩帆	高知県看護協会	2025.9.6.高知
個人防護具の着用	近森幹子	くぼかわ病院	2025.9.12.高知 2025.9.18.高知 2025.9.19.高知
近森病院付属看護学校・成人看護学Ⅳ	島田いつみ	近森病院付属看護学校	2025.9.12、9.19.高知
高知県中期研修	島田いつみ	高知県、高知大学	2025.9.21.高知
認知症対応力向上研修	明神拓也	高知県看護協会	2025.9.23.高知
統合分野 看護の統合と実践 チーム医療	森本志保	近森病院付属看護学校	2025.9.25～10.30
習熟段階Ⅳ研修「看看連携における看護サマリーとは」	山本詩帆	徳島県看護協会	2025.10.4 徳島Web
JNTEC	池澤友朗	日本救急看護学会	2025.10.4-5.岡山
令和7年度施設内感染対策研修	近森幹子	高知市エリア医療関連感染対策地域支援ネットワーク	2025.10.17.高知
医療現場におけるAI技術の活用	島田いつみ	FUJIFILM	2026.10.25.高知
心不全ステージBに対する療養支援 -看護師の役割-	久家由美	循環器疾患未来投資フォーラム 高知分科会 看護師 ミーティング ベーリンガーインゲルハイム(株)	2025.11.4.高知
中堅職員実務研修ーがん中期研修「がん患者の在宅支援」	山本詩帆	高知大学医学部附属病院	2025.11.9.高知
感染予防対策について	近森幹子(非常勤講師)	土佐リハビリテーションカレッジ	2025.11.14.高知
外来におけるインスリン導入と在宅療養支援の取り組み	田中 美和	第51回高糖尿病チーム医療研修会	2025.11.16.高知
その人らしい暮らしを支える看護師が繋ぐチーム医療	久家由美	宮崎県延岡市ジャディアンス講演会 日本ベーリンガーインゲルハイム(株)	2025.11.27.宮崎
在宅看護展開論Ⅱ	山本詩帆	高知県立大学大学院看護学研究科	2026.11.28.高知
回復期リハビリテーション看護師認定コース第18期 「継続看護と地域連携」	山本詩帆	回復期リハビリテーション病棟協会	2025.11.29 東京Web
高知市南地区・東地区支部 多職種事例検討会 身体拘束をめぐってー安全と尊厳を両立する看護へー	岡本充子	高知県看護協会	2025.12.13.高知
当院での穿刺時疼痛緩和への取り組み	西村 剛	高知県穿刺時疼痛緩和とセミナー、主催:扶桑薬品工業 株式会社	2025.12.09.高知

〇外部委員			
内容	氏名	主催	開催
高知県看護協会 広報出版委員会	山脇 寛子	高知県看護協会	定例
2025年度高知県看護管理者支援事業 県内アドバイザー	工藤淑恵	高知県看護協会(高知県委託事業)	2025.4～2026.3
医療安全委員	西岡 成巳	高知県看護協会	2025年度 5回会議開催
理事 生涯学習支援委員会委員長	岡本充子	日本老年看護学会	2024.6.29～2026年度社員総会
査読委員	岡本充子	日本老年看護学会	2024年8月1日～2026年度社員総会
理事(副会長)	岡本充子	高知県立大学後援会	2025.4.1～2027.3.31
APN制度推進委員	岡本充子	日本看護系大学協議会	2025.9.30～2027年度定時社員総会の終結時
日本乳癌学会評議員	藤原キミ	日本乳癌学会	2025.07.09東京 評議員総会、査読委員、地方会座長
日本乳癌学会教育・研修員会教育セミナー運営小委員会	藤原キミ	日本乳癌学会	1回/2～3ヶ月会議開催、ICIセミナー看護師・薬剤師セッション司会
日本乳癌学会チーム医療推進委員会	藤原キミ	日本乳癌学会	1回/2～3ヶ月毎会議開催、乳がんチーム医療看護師制度スタンダードレベル研修(ラーニング07-09)
日本乳癌学会会員サービス検討小委員会	藤原キミ	日本乳癌学会	1回/2～3ヶ月毎会議開催
ナースセンター事業協議会	吉永富美	高知県看護協会	2025.6～2027.6 会議3/13、8/28
日本感染管理ネットワーク定時社員総会 評議員(議長)	近森幹子	一般社団法人日本感染管理ネットワーク	2025.5.25web
高知大学医学部付属病院医療人育成支援センター認定看護師教育課程教員会(外部委員)	近森幹子	高知大学医学部付属病院医療人育成支援センター認定看護師教育課程教員会	2025.5.14高知
高知市エリア医療関連感染対策地域支援ネットワーク会議	近森幹子 前野多希	高知市エリア医療関連感染対策地域支援ネットワーク	2025.5.2高知 2025.6.30高知 2025.10.8高知 2025.10.17高知
高知県ICNネットワーク会	近森幹子 前野多希	高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク	2026.9.17高知 2026.3.19web
企画委員	伊与田 美香	高知県糖尿病看護士佐の会研修会	定例
高知県看護連盟(幹事)	齊藤 尚子	高知県看護連盟	定例
高知県訪問看護推進協議会	山本詩帆	高知県	2025.3.4 / 11.5 高知Web
在宅領域看護検討会	山本詩帆	高知県	2025.3.11 高知
地域包括ケア推進委員会	山本詩帆	高知県看護協会	2025.6.30 / 8.25 / 10.1 / 12.15 高知Web
高知県がん診療連携協議会緩和ケア部会在宅緩和ケア委員会	山本詩帆	高知県/高知大学医学部附属病院	2025.1.6 / 2.13 / 7.7 / 9.16 / 11.18 高知
中央1地区理事 災害看護委員会、認定看護管理者教育運営委員会	森本志保	高知県看護協会	2025.6.14～2026通常総会終了日まで
高知県立大学看護学会運営委員会役員	森本志保	高知県立大学看護学会	2025.7.19～2027.7月末

〇論文発表・著書

タイトル	執筆者 共同執筆者	掲載誌 出版者	巻・号・ページ
食事を十分に摂取したうえで、活動を促進する心臓リハビリテーション	久家由美	ハートナーシング メディカ出版	2025 Vol.38 No.5.90-93
ライフスタイルに合わせた食事と運動指導で支援する心臓リハビリ	久家由美	ハートナーシング メディカ出版	2025 Vol.38 No.6.84-87
社会的フレイルの状態である高齢心不全患者への療養支援に関する報告	島田いづみ	第22回日本循環器看護学会学術集会	
ケアの基盤をつくるがん看護実践を支えるキーワード70-事例でひもとく看護実践への活用-	島田いづみ	南江堂	87-89